

「豊」かで「和」やかな 豊和

豊和 おひさま だより

旧「豊和村づくり通信」

開畑の道路沿いにみんなで植えたチューリップが
2021年春、綺麗に咲きそろいました！



総会報告 令和2年度総会報告 他 ソーラーシェアリングを謳った 「駅からハイキング」

新しい「村づくり基金」協力事業者のご紹介

SBIエナジー株式会社

耕作放棄地復元の支援

移住者紹介！ ●飯塚地区 青山 完さん



ソーラーシェアリングの「分かち合い」で豊和を元気に！ **豊和村づくり協議会**

<https://www.toyowa-village.org/>

豊和村づくり協議会 総会報告

4月11日、第4回総会を行い、
2020年の報告・基金使用状況の承認と
今後の基金の使用方法について話し合いました。
詳しい内容は、ホームページに掲載されていますのでご覧ください。



報告 1

2020年は、9事業者・23設備から340万円の基金への拠出を頂き、以下のような取り組み等に助成、支出しました。

- ①ホテルを愛でる会への助成
コロナ対策で急遽中止したので、
準備に要した14、260円
- ②豊和保育所への外壁時計の寄贈
97、000円
- ③開畑のチューリップ植え
14、000円
- ④犬屋敷跡地のごみ処理費用
134、000円
- ⑤災害時非常電源工事
225、000円
- ⑥開畑エリアの防犯カメラ設置
79、000円
- ⑦小学校入学支援金（7人）
140、000円

報告 2

基金を有効に活用していくために新たに次の取り組みを進めて行くこととしました。

- ①移住者拡大、定着支援制度
 - 移住者に空き家を賃貸してくれた家主さんへの謝礼（5万円）
 - 市の移住支援の対象とならない移住者への移住一時金（15万円）
 - 移住者、及びUターン者へのリホーム費用の無利子融資（最大36万円）
- ②耕作放棄地の解消への支援
 - 豊和地区内にある耕作放棄地を豊和在住の方、又は実質的に豊和で農業を行っている者が賃借して耕作する場合に、1000㎡あたり15000円を限度に助成する。

■村づくり基金収支報告（令和2年度）

＜収 入＞	金 額
前年度繰り越し	1,009,295
基金収入	3,400,000
預金利子	19
合 計	4,409,314

＜支 出＞	金 額
防犯カメラ設置・画像管理	90,090
災害時非常電源工事	127,600
災害時非常電源看板・取付	102,164
チューリップ植え	8,500
収穫祭助成金（さつま芋畑）	30,000
保育所時計代（設置工事込）	96,950
小学校入学支援金（7人）	140,000
犬屋敷跡地ごみ処理	133,650
小 計	728,954
会報発行料（3号分）	85,700
HP利用料	13,230
事務経費	57,647
その他経費	38,978
小 計	195,555
合 計	924,509

次年度繰越金 3,484,805 円

＜会計監査報告＞

村づくり基金の2020年3月20日から2021年3月20日までの使用状況について監査した結果、収支報告にあるとおり正當に処理されていることを報告します。

2021年3月22日
会計監査 八木敏夫

③「地域づくり事業立ち上げ基金」の創設

- 将来に向けて地域で必要となるサービスや事業の立ち上げを支援し、移住者の増加や定着につなげていくことを目的に基金を創設します。制度の内容は検討中です。

④現在、「放課後子ども教室」は夏休み等の期間は実施されていませんが、子どもたちを預かる取り組みを検討していくこととします。資金的には基金を活用し、地域みなさんと協働で実施していきます。

ソーラーシェアリングを匝った 「駅からハイキング」

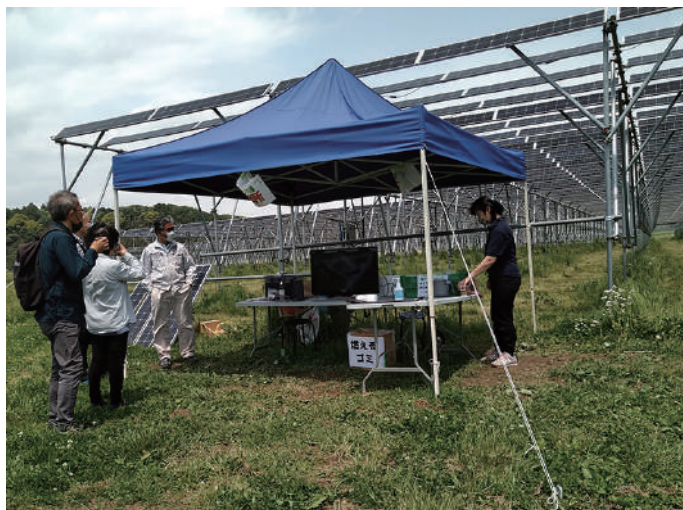
めぐ

JR が企画する『駅からハイキング』で、4月24日～5月9日に「匝る☆瑤やかハイキング～太陽の恵みソーラーシェアリングの郷を見に行こう」が開催されました。

八日市場駅を起点に11キロの距離を4時間かけて歩くコースにあって、見所のメインは匝瑤メガ



JR 東日本「駅からハイキング」ホームページより



ソーラーシェアリング発電所。期間中はブースと椅子・テーブルを設けて、大豆コーヒーなどを無償提供し、スタッフが農業と発電の取り組みなどを来訪者に説明しました。

参加者は広大な爽やかな大地で身体を休め、想い通りに太陽光パネルと畑の姿を堪能し、コースの続きへと旅たって行きました。

新しい「村づくり基金」協力事業者のご紹介

SBIエネルギー株式会社



ソーラーシェアリングは、耕作放棄地や担い手の高齢化など、農村地域の課題を解決するだけでなく、地球温暖化や食料危機、自然災害に対するレジリエンスの向上に寄与する仕組みとして、これからの地域社会に必要不可欠な存在です。

SBI エナジーでは、地域経済の活性化と持続可能な地域社会の実現に向け、飯塚地区での取り組みをモデルケースとして、全国各地にソーラーシェアリングの普及を進めて参ります。

耕作放棄地復元の支援

村づくり基金を活用し、耕作放棄地の解消を支援しています。



復元前



復元後

豊和地区内の畑が対象で、かつ耕作者が地区内在住、若しくは主に耕作をしている方が対象となります。詳しくは村づくり協議会に問い合わせください。



飯塚地区
あおやま 青山 完さん



移住者紹介

今回は飯塚在住の
青山完さんをご紹介します。
田んぼでの活動中に
お伺いしました。



●プロフィール
福島県生まれ。
2016年神奈川から匝瑳に移住。
現在、NPO 法人 SOSA プロジェクトと
農業生産法人 Three Little Birds で
活動している



●移住のきっかけ

外食チェーン店で店長目指して朝から晩まで働いていましたが、仕事内容や働き方、生き方に疑問を感じました。当時池袋にあった、SOSAプロジェクトの理事である高坂勝さんが営むオーガニックバーに通い、高坂さんから匝瑳での暮らしや、田んぼや畑など農的生活、生き方などを教えてもらい、匝瑳への移住を決断しました。

●移住した当時のことなど

飯塚にある古民家をお借りして住んでいます。昔から古民家で暮らすのに憧れていたもので、とてもうれしいです。大家さんから「自由に使っていい」と言ってもらえたので、家の中を自分で修繕したり、薪ストーブを設置したりして、楽しく生活しています。

●現在の取り組み

二つの仕事をしています。一つはNPO法人 SOSAプロジェクトで、田んぼをやったことがない方に大寺の田んぼで、田植えから稲刈りまで体験していただく活動をしています。

もう一つは農業生産法人 Three Little Birds(スリーリトルバーズ)で、開畑のソーラーシェアリングの下の圃場で大豆や麦などを作っています。



●現在、楽しんでいること

日曜大工やDIYが好きなので、自分の家を自分で修繕したり、家具を作ったりしています。移住してくる方々のお家の修繕をお手伝いもしています。

●これからやってみたいこと

最近、地方に移住したい人が増えていて、相談をよく受けます。匝瑳の地元の方からは、空き家が増えてきてる、空き家の管理が大変、誰かに住んでもらいたい、といったお話を聞きます。地方に移住したい人と、匝瑳の空き家をお持ちの方を繋ぐ、そんな活動をNPO法人の仲間とともに行っていきたいです。

●青山さんから、豊和のみなさまへ

空き家をお持ちの方にお願いがあります。私たち SOSAプロジェクトでは、移住希望者と匝瑳の空き家を繋ぐ活動をしています。お家を移住希望者に貸してもよいという方がいましたら、ご連絡をいただきたいと思います。

下記が連絡先になります。よろしくお願い申し上げます。

NPO法人 SOSAプロジェクト

移住担当 青山 完

電話番号 **090-4476-5180**

